



災害時にも
役割果たせる
人員体制を



住民の命と くらしを守る自治体をつくろう

大阪自治労連は9月14日～15日に大阪市内で第31回定期大会を開催しました。代議員からは、地震・台風など自然災害のもとでの住民本位の行政のあり方と勤務・労働条件、この秋闘が山場となる「会計年度任用職員」制度に対する取り組み、誰もが誇りを持って働きつづけられる人員・労働条件をめざすたたかいなどの発言がありました。そして、維新政治を許さず、憲法をいかに自治体本来の役割を発揮できるよう、たたかう労働組合を強く大きくしていく決意が語られました。

この1年間の運動方針・大会宣言と特別決議が採択され、大阪自治労連結成30年にむけた組織拡大と憲法・地方自治がいきる職場と地域をつくるために奮闘する決意を固めあいました。

憲法を職場と地域のすみずみに

“社会風刺漫才、KKコンビ”

川本 正一さん（右）

角元 博さん（左）

大阪市公務公共労働組合

E-Mail : kk.combi.oosaka@gmail.com

Facebook「KKコンビ 大阪」



自治労連大会（8月26日～28日）では地元歓迎行事に出演、全国の仲間へ笑いを届けました

同期の二人が 定年後に漫才コンビ結成

18歳で大阪市に入職。新採研修は同じクラスでした。その後は職場も組合の支部も違うため顔を合わせることは少なかったですが、服の趣味が似ていて、組合の集まりでたまたま同じ服装になったことがあり、仲間から「二人で漫才したらどう？」と言われたのがきっかけです。「思想調査アンケート」など難しいことを、どうにかわかりやすく伝えられないか…と考えていたこともあり、やってみることにしました。

結成当初は、マジメに練習すれ

6年前の「大阪市職員思想調査アンケート裁判」のたたかいの最中に生まれた漫才コンビ。2016年1月6日大阪市労組・市公労の旗びらきで結成＆デビュー。川本さんが「K1号」、角元さんが「K2号」の「KKコンビ」。都構想に反対する集会からティサービスのイベントなど、お笑いで維新政治や安倍政権の悪政を痛烈に風刺している二人にお話を聞きました。

ばするほど失敗して、それを観て笑ってもらう「スベリ漫才」でした（今もそうですが…）。台本をつくらなかった仲間が早期退職してからは、自分たちでネタを考えます。「K1号がネタをすすめ（演説して）、隣でK2号が自由にならず…」というスタイルができあがりました。

余裕がない職場の仲間を 励ましたい

職員同士のコミュニケーションが必要と思いい、休日に職場の仲間に声をかけて大阪城公園で昼と夕方2回漫才をして喜ばれました。以降、親睦の場が続いていま

「難しいこと」は漫才で 仲間や 地域に 笑いで 届けたい

す。若手職員が「こんなことがありまして…ネタになりましたか？」と声をかけてくれました（川本さん）。

本庁にいた時は、息がつまりそう、地下の組合事務所に行って一息ついていました。それがあって、定年まで仕事を続けられました。今、組合事務所問題にかかわる府労委闘争は、ホンマに大事です。以前の職場で窓口に来た市民に、「漫才した人やね」と声をかけられ、気持ちの和らいだこともあります（角元さん）。

学びを大切に 笑いで伝えたい

「社会風刺漫才」として、政治やくらしの問題など学習しなければ…と思っています。漫才をとおしてわかりやすく伝え、笑ってもらえればと思います。「大阪都構想」や、カジノ問題の学習会などいつでも行きますので、ぜひ呼んでください。